

日本は素晴らしい国

北海道大学医師会
公益財団法人 札幌がんセミナー

小林 博

海外旅行から帰るたびに「日本はいい国だなあ」とつくづく思います。長旅だと一層その思いが募ります。わが家があるのですから当たり前なのですが、なぜいいのかあまり真剣に考えたことがありませんでした。

ある時、1人の留学生が「日本は素晴らしい国ですね」「なぜですか?」「天皇制があるし、日の丸もいいです」と言うのです。意外な言葉にびっくりしたのですが、お世辞ばかりとは思えなかったのです。

1. 天皇制と日の丸

よく考えてみました。むかしの日本人の知恵がいまの「天皇制」を作りあげたのだと思います。天皇制は日本人の知恵の結晶と言っていいのではないのでしょうか。天皇は国民を思い、国民に寄り添い、また国民も天皇を心から敬愛し、何か事あるときの心の拠り所でもあります。だから戦後80年近くという限定があっても日本は大きく荒立つこともなくまことに平和でした。しかも国民の間に心優しい共助の心が行き届いていると思います。

「日の丸」の旗もいいですね。誰が見ても、そしてどこにいてもすぐに分かるほどに目立ちます。「シンプル・イズ・ベスト」といわんばかりに生き生きとしていて、日出づる国の象徴でもあります。

2. 国民皆保険

日の丸のように素晴らしいものはいっぱいあります。日本の健康保険は生後早くからみんなが加入し、最低限の治療を受けることができます。こんな素晴らしい国民皆保険制度は他に例を見ないほど行き届いていると思います。アメリカのオバマケアは未だに実現していませんね。多民族国家などの壁もあり皆保険はなかなか難しいようです。日本の国民皆保険は逆に良すぎて気になることが出てくるくらいです。

3. 学校給食

「学校給食」は日本では当たり前のことになっています。毎日の給食が日本の子どもたちの健全な育成にどれだけ大きく役立ってきたか、言うまでもないことです。食とは「人を良くする」と書きます。親たちも安心できますし、本当にありがたい制度です。ところが諸外国には学校給食は、私の知る限りほとんどありません。私がよく行くスリランカも学校は午前中で終わり。アメリカもヨーロッパの国々も同じと聞いております。生徒は弁当を持参するか売店で買い求めることが多いようです。

4. その他

日本の素晴らしさは他にも数えきれないほどたくさんありますね。犯罪も比較的少なく銃を持つ人もおりません。どこの町も安全で、夜でも歩けます。水も安心して飲めます。本当にいい国だなあと痛感するのです。

ただ、残念なことがあります。この日本の素晴らしさにわれわれ国民があまり気付いていないか、当たり前前と思っているのです。万が一のリスク意識が極端に希薄と言えるのでしょうか。このことが私の唯一の心配です。

日本を護る

札幌市医師会
西東皮膚科医院

西東 崇雄

先日、自衛隊駐屯地一般公開があり参加しました。

初めての体験でやや緊張しましたが、自衛官の親切的な対応、また意外と家族連れが多く、賑やかなリラックスした雰囲気。装備品の展示、観閲式、試乗会、出店など多彩なイベントがあり、盛況でした。

自衛隊の仕事には大きな柱が3つ。国の防衛、災害派遣、国際協力。昨年震災での自衛隊の活躍は記憶に新しいところです。荒涼な土地に、街が一つできてしまうほど完璧なインフラ整備、設営能力を持っているとのことでした。一般公開では模擬訓練披露もあり、その圧倒的な統率力に日ごろの試練に耐える姿が思い浮かびます。

自然災害の続く日本。この国には自衛隊は欠かせない組織だと再認識した次第です。国民を護るのは医師も同じ。負けられません。

